

「人づくり」ハンドブック

# 静岡県の 人づくり



静岡県



2月23日は富士山の日

「富士山と富士山世界遺産センター」



本書に関するお問い合わせ先

静岡県 文化・観光部 総合教育局

総合教育課 総合教育班

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話 054-221-3304

F A X 054-221-2905

E-mail [sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sougouEDU@pref.shizuoka.lg.jp)

URL <http://www.pref.shizuoka.jp/bunka/bk-170a/>

静岡県の人づくり推進

検索



平成 30 年 10 月 第 6 版発行

この印刷物は、20,000部作成し、1部あたりの印刷経費は22.6円です。紙へのリサイクル可

## 「有徳の人」づくり

本県の目標は「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり」です。原点は日本の霊峰・富士です。「富士」の字は、豊かな「富」を学徳のある「土」が支える形です。富士の字形を地域の形にする、即ち、豊かな富を創出する「有徳の人」を育成する、それが“ふじのくに”の教育理念です。

学びの場は、学校ではありません。本県には日本の国土のシンボルである世界遺産富士山をはじめ、ユネスコ世界ジオパークに認定された伊豆半島など、世界に誇る豊かな自然や地域資源が数多くあります。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、「文化プログラム」として本県の文化力を世界に発信するイベントが県内各地で展開されます。こうした自然や芸術などに触れることにより、人は感性を豊かにして、より良い生き方を学ぶこともできます。いろいろなことに意欲を持ち、生涯を通じて学ぶ姿勢を持ち続けることが大切です。

地域の自立の基礎は教育の自立です。教育を学校の先生だけに任せる時代ではありません。「地域の子供は地域の大人が育てる」という決意をもって、地域社会の大人の誰もが、子供の見習うべき先生であると自覚し、地域ぐるみ・社会総がかりで子供を育てましょう。

県民の皆様がこのハンドブックに取り上げた人づくりの事例を参考にされ、より多くの場で「有徳の人」づくりを実践されますよう、心から願っています。

静岡県知事 川勝 平太

## 目次

### I 静岡県の人づくり

- 「有徳の人」とは・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 「有徳の人」づくり宣言・・・・・・・・・・・・ 2
- 静岡県の人づくりのあゆみ・・・・・・・・・・・・ 3

### II 人づくりを実践しよう

- 家庭における人づくり①
  - 家庭で実践したいこと・・・・・・・・・・・・ 4
- 家庭における人づくり②
  - 子供への接し方のヒント・・・・・・・・・・・・ 9
- 家庭における人づくり③
  - お父さんの子育て・・・・・・・・・・・・ 12
- 地域における人づくり・・・・・・・・・・・・ 14
- 地域における人づくり事例①（地域活動）・・・ 16
- 地域における人づくり事例②（子育て）・・・・ 18
- 地域における人づくり事例③（若者の取組）・・・ 20
- 地域における人づくり事例④（世代間の交流） 22
- 地域における人づくり事例⑤（放課後等の活動） 24
- 地域における人づくり事例⑥（人材育成）・・・ 26
- 地域における人づくり事例⑦（読書の推進）・・・ 28
- 人づくり推進員の活動・・・・・・・・・・・・ 30
- 親子で話そう!!我が家のケータイ・スマホルール 37

表紙絵 静岡県イメージキャラクター「ふじっぴー」

# I

## 静岡県の人づくり

## 「有徳の人」とは

静岡県は、「富国有徳の『美しい“ふじのくに”』づくり～静岡県を Dreams come true in Japan の拠点に～」を県政運営の基本理念として掲げています。“ふじのくに”の礎は何といっても「人」であり「**人づくり**」の柱は**教育**です。

そこで、個人として自立し、人との関わり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画し、行動する人を徳のある人、すなわち「有徳の人」と捉え、“ふじのくに”の未来を担う「**有徳の人**」の育成を進めていきます。

### 「有徳の人」とは、こういう人

#### ①自らの資質・能力を伸長し、個人として自立した人

- ・様々なことに興味を持ち、自らの知識を増やす努力をしている人
- ・美しい立ち居振る舞いや礼儀作法を身に付けている人
- ・決められたルールや約束をしっかりと守ることができる人など

#### ②多様な生き方や価値観を認め、人との関わり合いを大切にできる人

- ・一人一人の長所を見つけ、相手の立場を尊重できる人
- ・家族や友達に感謝し、ありがとうの気持ちを大切にできる人
- ・周りの人とコミュニケーションをとって行動できる人 など

#### ③社会の一員として、よりよい社会づくりに参画し、行動する人

- ・困っている人を見たら、手を差し伸べることができる人
- ・地域の行事に積極的に参加し、幅広い世代の人々と協力できる人
- ・自分の住む地域を愛し、地域の文化や伝統を大切にしている人 など

## 「有徳の人」づくり宣言

ふじのくに「有徳の人」づくり大綱では、「有徳の人」の育成を基本理念としています。

そして、“ふじのくに”における教育の基本理念を全ての県民が共有し、社会全体で「有徳の人」づくりに取り組むため、「有徳の人」づくり宣言をしています。

### 「有徳の人」づくり宣言

教育における地方創生を実現し、気品をたたえ、調和した人格を持ち、また、「富士」の字義にふさわしい物と心の豊かさをともに実現する「有徳の人」を育成するため、

一、「**文・武・芸**」三道の鼎立を実現します。

一、生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境を実現します。

一、地域ぐるみ、社会総がかりの教育を実現します。



### 基本理念の確立

#### 1 「人づくり百年の計委員会」提言(平成 11 年 10 月)

- ・「意味ある人」(何かができる人・精神的に自立している人・思いやりのある人)をつくるために、家庭・学校・社会の3分野での具体的取り組みを提言

### 実践方策の構築

#### 2 「創知協働 人づくり推進県民会議」提言(平成 18 年 3 月)

- ・人づくりの着実な展開を図るために、多くの方々に実践していただけるような方策を検討し、具体的に提言
- ・提言を受け、「人づくり“めざす社会”具現化懇談会」(平成 19 年)において「再チャレンジできる社会の実現」について方策を検討

### 本県教育の基本目標を示す

#### 3 「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」(平成 28 年 2 月)

- ・「有徳の人」づくり宣言
  - ・文武芸三道の鼎立
  - ・生涯にわたる多彩な学びの場の実現
  - ・社会総がかりの教育の実現

「有徳の人」の育成を本県教育の基本目標に  
新たな「大綱」及び「静岡県教育振興基本計画」

#### 4 (平成 30 年 3 月)

- ・基本理念は「有徳の人」の育成
- ・「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現
- ・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
- ・社会総がかりで取り組む教育の実現

## II

# 人づくりを実践しよう

## 家庭における人づくり① 家庭で実践したいこと

### 1 あいさつ 挨拶をしよう

挨拶はコミュニケーションの基本です。「挨拶」には「心をひらく」、「挨拶」には「相手に近づく」という意味があります。大人から子供に、明るく美しい挨拶をしましょう！

◆挨拶されると、子供は「自分が大事にされている」と安心し、自尊心が育っていきます。“しつけ”はここから始まります。そして、挨拶は家族の絆を深めます。

◆まずは、次の6つの挨拶を、目と目を合わせ、笑顔ではっきりと言いましょ！



■おはよう      ■ごちそうさま  
■ただいま      ■おやすみなさい  
■いただきます   ■ありがとう

◆挨拶の言葉には、それぞれ意味があります。例えば、「ありがとう」という挨拶にはどのような意味が込められているか、考えてみましょう。

あなたが考える「いい挨拶」とは？



### 2 美しい立ち居振る舞いを心がけよう

立ち居振る舞いや礼儀作法は、自分を律し、相手を大切にすることが態度に表れたもので、お互いに気持ちよく生活する人間関係を築くために大切なものです。

大人が普段から美しい立ち居振る舞いを心がけ、子供の見本となりましょ！

◆各家庭や学校・幼稚園・保育所のできる立ち居振る舞いや作法を考えてみましょう。例えば…

- 靴をきちんと揃える
- 箸を正しく持つ
- よい姿勢で歩く      などです。

◆皆さんが普段意識している立ち居振る舞いや作法に、どのような意味が込められているか、考えてみましょう。

#### 【“しつけ”について】

■“しつけ”について辞書をひくと、「礼儀作法を身につけさせること」という意味に続き、「縫い目を正しく整えるために仮にざっと縫いつけておくこと」という意味が出てきます(『広辞苑』)。しつけは、“仮にざっとしておく”ことだと考えることができます。

■しつけは社会全体で仕上げていけばいいと気楽に考え、家庭では“ざっと”やってみましょ。



### 3 はっきり美しく話そう

母語ではっきり、美しく話す習慣をつけることは、筋道を立てて物事を考える基礎になります。

子供が自分のことや社会のことについてしっかり話ができるよう、大人が子供にはっきり、美しく話すことから始めましょう。

◆日本語の美しいひびきや表現を、まず大人が楽しみ、その楽しさを子供に伝えましょう。

◆テレビやゲームから離れ、少なくとも毎日30分は美しい日本語を学習する時間をつくりましょう。

■子供に**読み聞かせ**をやってみましょう。

■近所の子供たちを呼んで、**カルタ**や**紙芝居**をやってみましょう。

■**音読**をさせてみましょう。

■**毎日10~30ページの読書**をさせてみましょう。



皆さんのご家庭では、言葉遣いや話し方について、どんなことを心がけていますか？

### 4 暑さ・寒さを体験しよう

子供には、幼児期における“暑さ・寒さ”体験が必要です。3歳までに“汗をたくさんかく”体験をすることで、体温を調節する機能が発達します。

◆自律神経系の調節不良を訴える子供が多くなっています。年齢が大きくなっても、それまでに自律神経が年齢にともなって発達してこないところが問題です。

■毎日一回、汗をかくくらい外で遊ばせましょう。

■夜たっぷりと眠らせましょう。

■寒くても元気に外で遊ばせましょう。

### 5 遊びに熱中できる環境をつくろう

子供には、子供らしく、屋外で元気に遊ぶという生活をぜひさせたいものです。放課後や休みの日には、様々な遊びに熱中できる環境をつくりましょう。

◆**からだ全身を使うような遊び**を思いきりさせる熱中体験は、感情の「興奮」と「制御」の働きをバランスよく発達させることができます。

◆どろんこ遊び、接触型の遊び、自然の中での冒険など、**豊かな体験**が子供の成長にはとても大切です。



## 6 規則正しい生活リズムを心がけよう

「早寝早起き朝ごはん」と言われるように、子供の心や身体の成長のためには、基本的な生活リズムを定着させることが重要です。「我が家の生活リズム」について家族で話し合い、ルールづくりをしましょう。

### ◆まずは早起き！朝日を浴びよう！

《朝寝坊→慢性の時差ぼけ→眠れない→夜更かし》  
の悪循環を断ち切るため、まずは早起きしましょう。

### ◆一日三度の食事をきちんととりましょう！

【子供の健康をつくる食生活のポイント】

- ①家族そろって**朝ごはん**を食べましたか？
- ②**主食**を食べましたか？
- ③**たんぱく質**は？
- ④**食物繊維**は？
- ⑤**ミネラル**は？
- ⑥主食**3**：野菜**2**：魚・肉**1**の割合
- ⑦**食卓を囲んで楽しく会話**ができましたか？



手を合わせ、感謝をこめて「いただきます」を  
言いましょう！



私たちは野菜や動物の命をいただいて食事をしています。  
その命に対する感謝の気持ちが「いただきます」です。  
愛情を込めて料理してくれた人や、生産者や、自然の恵み  
に対して感謝する気持ちが「いただきます」です。  
「ごちそうさま」も忘れずに！

## 家庭における人づくり② 子供への接し方のヒント

しつけや子供への接し方を考えるための参考にと、故草柳大蔵氏(人づくり百年の計委員会会長)からいただいたメモを紹介します。メモをもとに、子供への接し方を話しあってみましょう。(出典：静岡県『人づくりの道標』平成14年発行)

### 1 子どもをのびす叱り方

「七つ誉めて三つ叱れ」

- これだけは許せない、と本気で叱る。
- 三歳まで 「いい子だったね」  
「えらかったね」  
「ママ大好きよ」
- 五歳以上 「ママ、助かったわ、ありがとう」  
「とっても上手に拭けたね」
- ふだん“叱る”ことが多いと、慣れてしまう。  
叱っても心に残らない。

### 2 大事にされた子は、やさしく強い

大事にするとはどういうことか

- けじめをつける。
  - ・飲食の時間をきちんと決める。
  - ・お菓子は袋からお皿へ、ジュースはコップへ分けて与える。
- 一緒に目標に向かって歩く。  
テレビはタイマーで消す。
- 順番(ブランチやすべり台)を守らせる。



### 3 征服者になるな

これだけは言うてはならない 12 の禁句

- ①「悪い子ね、いやな子ね、どうしてそんなことするの？」
- ②「何やってるの？ダメじゃない」
- ③「そんなことすると、お父さんに叱られますよ」
- ④「昨日も言ったでしょ」  
「この間も同じことをして、何度言ったらわかるのよ」
- ⑤「お兄ちゃん(お姉ちゃん)はそんなことしないのに、あなたはどうしてそんなことするの」
- ⑥「そんなことするなんて、うちの子じゃないわ」
- ⑦「何やってるの！余計なことはしなくてもいいの」
- ⑧「今日だけよ」
- ⑨「どうしてお母さんの言うことが聞けないの」  
「なぜ宿題忘れたの」
- ⑩「だから、あなたはダメなのよ」  
「ほんとうにグズなんだから」
- ⑪「お母さんはあなたのために叱っているのよ」
- ⑫「男の子でしょ、しゃんとしなさい」  
「女の子のくせになんです！」

(注) ①～⑫の言葉は「人格を否定する」「以前のことを持ち出し、焦点が定まらない」「比較する」「責任転嫁する」などの理由から言うてはならないと述べていると思われます。

### 4 気をつけよう

- ①子ども間で比較しない。
- ②子どもの甘えに妥協しない。
- ③子どもの“うっかり”を追及しない。
- ④恩着せがましいことを言わない。
- ⑤子どもを孤立させない。

### 5 子どもは、親の言うとおりににはならないが、するとおりになる

- じつは、育児については、父も母も一大事業に取りかかりながら、無免許運転である。
- 家庭教育とは、カリキュラムのない学校です。しかも1年365日、1日24時間です。子どもは「親の言うとおりににはならないが」「親のするとおりににはなる」ものです。テキストは「どんな電話のかけ方をするか」「どんな格好でご飯を食べるか」「どんなTVを見るか」「夫婦でどんな会話をするか」といった親自身の生き方です。



## 家庭における人づくり③ お父さんの子育て

### 1 親の生き方を示しましょう

親の価値観や生き方は子供の人生を左右します。まず、親自身が、社会的にも認められる一貫した価値観や生き方を子供に示すことが大切です。子供にとって、親が最も身近なお手本になります。

◆子供は「親の言うことは聞かなくても、親のすることはする」と言われます。言葉で語ることも大切ですが、親の正しい生き方を示すことで、子供は学んでいきます。例えば…

- 思いやりの心や感謝の心を言葉や態度で示す
- 祖父母を大切にすることを子供に見せる

などです。

### 2 夫婦で話し合い、協力しましょう

お母さんの相談に乗ったり、お母さんと協力し合ったりすることは、お父さん自身にとって今までにない体験や新たな感動があり、お父さん自身の成長につながります。

- ◆子育てへの思いを共有することが、夫婦の豊かなコミュニケーションを生み出します。
- ◆授業参観やPTA活動、地域活動などに参加し、子供の姿を夫婦の話題にしましょう。

### 3 子供と遊んだり相談に乗りたいしましょう

親との遊びや親への相談が、子供の自立を促し、挫折を乗り越える力と自尊の感情をはぐくみます。

- ◆子供が小学生のうちは、親子で身体のふれあいをします。遊びながら話を聞き、コミュニケーションを深めます。時にはお父さんから遊びに誘いましょう。
- ◆話をじっくり聞く、同じ目の高さに立って考える、深い関心を払うといった姿勢を身に付けましょう。

### 4 基本的な生活習慣をしつけましょう

正しい生活習慣は、子供の自立のもとになるとともに子供の心の健康を守り、社会性をはぐくみます。

◆あせらず、じっくりしつけます。コミュニケーションを図りながら、一貫性のある指導をします。

- 正しい食習慣を身に付ける
- 生活時間を規則正しくする
- 服装や身なりを整える
- 物の整理整頓や後始末をする
- 家庭学習を習慣付けるためにサポートする

◆お父さんの子育てを応援「お父さんの子育て手帳」  
[http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/tunagaru/useful/kosodate\\_techou.html](http://www.pref.shizuoka.jp/kyouiku/kk-080/tunagaru/useful/kosodate_techou.html)

## 地域における人づくり

「家庭や地域の教育力低下」「子供や若者の規範意識の低下」「コミュニケーションの不足などによる子供や若者の孤立化・孤独化」などが指摘されています。

子供や若者は、家庭だけでなく、地域社会で育ちます。地域の特性を踏まえ、地域における人づくりとして何ができるかを考え、できることから始めていきましょう。

### 1 地域における人づくりとは

◆地域を通じて、多くの仲間や異世代の人々と出会い、触れあい、支えあい、体験を共有する。



- ◆地域の中で、大人が日頃から子供や若者に気を掛け、あいさつや声掛けを行うようになる。
- ◆互いに気持ちよく生活できる人間関係を築くための礼儀や作法を学ぶ。
- ◆苦しさや打ち勝つ喜びや、仲間と協力して課題を解決する達成感を味わう。
- ◆人々の自己肯定感や自己有用感（「自分は自分のままでいい」「自分は誰かに必要とされている」という思い）が育まれる。



◆個人として自立し、人とのかかわり合いを大切にしながら、よりよい社会づくりに参画する「有徳の人」が育まれる。

### 2 地域における人づくり活動の例

- 地域学の推進（歴史や文化等、地域の魅力に触れる）
- 伝統芸能や祭り
- 地域のイベント（公民館祭りなど）
- 自然生活体験・農作業体験・里山保全活動
- ボランティア体験
- 年中行事体験 など

その他、どのような活動が考えられるか、挙げてみましょう。



### 3 身近な団体と手を携えませんか？

◆地域の団体と連携して互いの得意分野を生かし、地域における人づくりを進めていきましょう。

皆さんの地域で人づくりを進めるために、どのような団体の協力が得られそうですか？身近な団体を挙げてみましょう。



地域の大人たちが協力して、子供を育む様々な活動を行っています。その事例をいくつか紹介します。

地域における人づくり事例①(地域活動)  
ふれあいサタデーパーク(藤枝市)

「ふれあいサタデーパーク」は、藤枝駅の南側にある田沼地区で、平成14年度に発足されました。異なる年齢の子供たちが、グループ活動(体験、学習、遊び)を通し、集団活動の楽しさや人と人との関わり方について学ぶ団体です。

【活動内容】

- ◆土曜日を中心に、藤枝市内の公会堂や体育館などで活動しています。
- ◆体験活動を中心に様々なカリキュラムが組まれています。スーパーでの買い物など身近にある教材に目を向けたり、正月飾りを作るなど伝統文化を学んだりもしています。
- ◆市内のドッジボールチームと連携し、ドッジボールの基礎基本を学んだり、実戦体験も行っています。



ドッジボールの練習の様子

【活動理念】

- ◆子供たちが、人と出会い、関わり、体験活動を通じて学ぶ場づくりを行い、コミュニケーション力の向上と社会性を育むことを目指しています。
- ◆人の成長には人との関わりが必要不可欠であることから、人との関わりを大切にしています。
- ◆活動内容は、常に子供の視点となるよう心がけています。



みんな集まってる学習



ふれあいサタデーパークのみなさん

【活動を通して思うこと】

- ◆活動を通して、「人を知る」ことの大切さを感じます。地域に住む子供たちがお互いに、一緒に活動することを通して、顔や名前を知り、覚え、人間関係をつくっていきます。
- ◆子供の自由な発想にはいつも驚かされます。子供たちから学ぶことも多くあり、地域の大人たちも活性化しているように思います。
- ◆活動を通して、子供たちの心が開放され、安心感に繋がればよいと思います。

## 地域における人づくり事例②(子育て) 上内田にこここひろば(掛川市)

乳幼児をもつ親とその子供が気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語りあい、交流を図ることを目的として平成19年から実施しています。

### 【活動内容】

- ◆火・木・金曜日の9時30分から15時30分まで実施しています。
- ◆施設には、さまざまなおもちゃや絵本などが用意され、子供たちは自由に遊ぶことができます。
- ◆畑で採れた野菜を使ったカレーパーティーやクリスマス会など、季節に応じたイベントを行っています。



野菜の収穫の様子



親子でカレーを食べています

- ◆スタッフが読み聞かせなどを実施することもあります。出入りは自由です。食事時間も自由にしており、枠にはめることなく、子供の思いを大切に自然体を意識しています。
- ◆スタッフは、参加している親には声掛けをするようにしており、それが、親の安心感に繋がっています。



クリスマスパーティー



夏は外で元気に水遊び

### 【活動理念】

- ◆親が安心感を得られる場になればと良いという思いで活動しています。どの親も同じような悩みを抱えています。ひとりで悩んでいたものが解消し、子育てのエネルギーを蓄えて欲しいと考えています。
- ◆1人でも気軽に来られる場所として、スタッフとのふれあいを大切にしています。
- ◆ゆずりあいや、ものを大事に扱う気持ちを養うため、おもちゃは、あえて同じものをそろえないようにしています。

### 【活動を通じて思うこと】

- ◆参加した親の心が楽になり、負担が減るようになると良いと思います。親が来やすい場所を目指しているため、どんなイベントも予約なしで参加できるようにしています。
- ◆子育て支援を必要としているのに、こうした場があることを知らずにいる人がいることが課題だと思います。市のホームページでも広報し、参加を促しています。

## 地域における人づくり事例③(若者の取組) YEC(静岡市)

YECは、Youth Empowerment Committee(若者エンパワメント委員会)の略であり、静岡県立大学の大学生メンバーで構成される若者の社会参画を活性化し、若者が社会の力になっている状態を目指す静岡の学生団体です。

### 【活動内容・理念】

◆「すべての若者が思いを形にすることを通じて、社会のつくり手となるために」というミッションを基に活動を進めています。YECでは、若者が社会のつくり手となれるような社会の実現を目指して、「若者へのアプローチ」と「社会へのアプローチ」を進めています。

#### ◆若者へのアプローチ

自分のやりたいことを実現する経験を通じて、若者が「自分は社会へのつくり手である」と思える活動をしています。

##### 【もうひとつの放課後探しプロジェクト】

中高生が自分の「やってみたい」と思うことを、年齢の近い大学生の力を借りて、実現するプロジェクトです。



もうひとつの放課後探しプロジェクト

#### ◆社会へのアプローチ

若者の社会参画の重要性を学習し、若者を育む社会を形成することを目的とした活動を行っています。

##### 【講演会事業】

若者の社会参画の意義を広めるために、世界の若者政策の研究者や若者の余暇活動支援の実践者を招いた講演会を開いています。また、北欧視察や研究成果の発表も行っています。



北欧視察の様子

### 【活動を通じて思うこと】

- ◆企画の実現も大事ですが、それよりも過程を大切にしています。
- ◆中高生と一緒に準備していく中で、何気ない一言、何気ない行動にその子の思いが隠れていることが多いので、そういった意思表示に気づくことが大事であると思います。また、そういった本音を言える場を作っていくことも役割のひとつだと思います。
- ◆今後も、若者が社会参画できるよう、活動を継続していきたいと考えます。

## 地域における人づくり事例④(世代間の交流) ふじ山子どもおもちゃ病院(富士市)

使い捨ての時代、おもちゃの修理を通じて、人・物を大切に  
する心、工夫する喜びを伝えたいとの思いで、おもちゃ  
ドクター達が立ち上げたボランティアグループです。

### 【活動内容】

- ◆「ふじ山子どもおもちゃ病院」は、毎月2回日曜日に富士・富士宮地区で開院しています。2017年からは年2回、山梨県にも出張して開院しました。受付で預かり票を記入してから、診察が始まります。
- ◆おもちゃ病院は2004年6月から開催しており、これまでに開院は330回を超え、3000個以上のおもちゃを修理しています。
- ◆おもちゃの修理は原則無料で行われており、部品代のみ実費がかかります。当日治療ができなかったおもちゃは、次回の開院まで入院することになります。
- ◆入院したおもちゃはメンバーの自宅で修理します。部品がなければ自作することもあります。
- ◆スタッフは14名で、修理が難しいおもちゃも、おもちゃドクターを中心に知恵を出し合い、協力して、問題を解決していきます。
- ◆おもちゃの修理以外の活動もしています！
  - ・壊れたおもちゃを含め、不要になったおもちゃの回収
  - ・回収したおもちゃを修理して、磨いて図書館・児童館等へ寄付します。
  - ・子育て支援イベントへも参加します。



協力して修理します

### 【活動理念】

- ◆おもちゃを直したりするだけでなく、子供たちに、いろんな年齢層の方と関わりを持つことによって、人も物も大切にする気持ちや、工夫する喜びを持ってもらいたいと考えています。



自前の様々な道具を使用します

メンバーの皆さん

### 【活動を通じて思うこと】

- ◆おもちゃが直ったときの子供の嬉しそうな顔を見ると修理している方がエネルギーをもらっています。
- ◆壊れていても古くても、諦めずにおもちゃ病院に持ち込んで欲しいです。修理して、おもちゃに第二の人生を提供します。

地域における人づくり事例⑤(放課後等の活動)  
NPO 法人まちなびや(静岡市)

「まちなびや」は、子供と地域をつなぐ教育NPOです。子供たちが地域のさまざまな「ひと・もの・こと」と豊かに出会えるように活動しています。

【活動内容】

◆子供の遊び基地

駄菓子屋など、子供の居場所をつくる活動



今では、なかなか体験できなくなった子供たちの社交場  
放課後に心のビタミン補給!

『駄菓子屋』



子供たち自身でお店・サービスを考え、運営する体験です! 売り上げを社会貢献団体に寄付します。

『こども 10 円商店街』

◆シゴトびらき

子供が自分の興味をもった仕事に触れる活動



子供が、静岡で活躍しているプロフェッショナルの職場に取材し、自分たちでつくる子供版お仕事図鑑

『コ・コドモンデ』



静岡市内の小・中学校や公共施設に無料で配布。毎回20,000部以上の発行。  
静岡で実際に働く仕事人や仕事のやりがいを、わかりやすく紹介することで、オトナもコドモもシゴトにユメを与えます。  
仕事人の集合写真が圧倒的インパクト大!!  
大評判のお仕事図鑑  
情報紙『コドモンデ』

【活動理念】

◆子供は自分の生活圏で、多様な「ひと・もの・こと」と出会い、たくさんの経験を積み上げていきます。その出会いの豊かさが地域にとっても豊かになると考えています。

【活動を通して思うこと】

◆働く大人と出会う出前授業では、大人ってスゴイ! こんな仕事があるんだ、と素直に吸収していく子供の姿にうれしさを感じます。  
また、こども10円商店街では、子供だからできることを実践することで飛躍的に子供がたくましくなります。  
育ちあい、学びあいの場は地域で! そして地域で楽しく、地域を楽しく!! していきたいと思ひます。



## 地域における人づくり事例⑥(人材育成) 菊川ジュニアビレッジ(菊川市)

大学教授や、企業等と連携してカリキュラムを策定し、コミュニケーション能力や論理的思考力など、社会を生きるのに必要な「生き抜く力」を育むため、農業を軸に、学校では体験できない学びの機会を子供たちに提供しています。

### 【活動内容】

- ◆菊川市内外の小中学生が、週末に集まって活動しているほか、長期休暇中には、全国から参加者を募って、県外の子供たちと一緒に農業ビジネスに挑戦しています。
- ◆子供たちがそれぞれ計画を立てて、社長、マーケティング部、デザイン部、アグリテック部に分かれ、農産物の栽培から、加工、商品化、販売までの一連の流れを体験しています。
- ◆栽培に関しては、プロ農家から技術指導を受け、美味しい野菜を作ります。
- ◆販売では、商品企画から始め、静岡県内だけでなく県外でも販売活動をしします。
- ◆栽培や営業では、データサイエンスやメカトロニクスなどのテクノロジーも活用しています。
- ◆チームの活動拠点として、一軒家を自分たちの手で自分たちの部室に作り変えています。



部室での打合せの様子



農場での作業

### 【活動理念】

- ◆「先の見えない社会の中を、子供たちは生き抜いていくことができるのだろうか」、「高齢化や人口減少が進み、地域の産業が衰退してしまうのではないか」という危機感からこの取組を始めました。
- ◆農業というビジネスを通じて、経営と技術の両面から色々な経験ができます。やりたいことがきっと見つかる、そんな場を目指しています。

### 【活動を通して思うこと】

- ◆子供たちが視野を広げて、自分が夢中になれるものを見つけてくれれば大成功だと思います。
- ◆子供たちが農業ビジネスを通じて成長していくだけでなく、地域の大人達も刺激を受け、地域全体の活性化にもつながっています。



ルーパ-ティーの味を決めています



メンバーの皆さん

家庭文庫

個人のお宅に設置された小さな図書館「家庭文庫」。  
県内各地にある家庭文庫をいくつか紹介します。

てんとうむし文庫

子供と本との出会いをコーディネートし、読書の  
魅力を伝えたいという思いで平成6年に始めた「てん  
とうむし文庫」。三島市内に住む本好きのお母さんた  
ちが同市内3ヶ所で、家の玄関先を開放し、本の貸し  
出しを行っています。

文庫創設時から活動している段さんのお宅では、毎  
週木曜日の午後4時から6時までで開館しています。蔵  
書は2000冊以上あり、本の貸し出し冊数や期間に  
リミットを設けていません。

文庫を訪れる子供たちは、学校であったことなどを  
気軽に話し、安らぎの「居場所」にもなっています。



お気に入りの本を探しています

えほん文庫

浜松市にある「えほん文庫」は、主宰の大村さんが  
「絵本を中心とした地域の交流の場」を目指し、自宅  
の一部を開放して平成19年に始めた家庭文庫。利用  
者に良い絵本を提供したいという思いで蔵書を増や  
し、現在は、絵本、児童書、紙芝居、大型絵本など合  
わせて2500冊以上あります。

絵本の貸し出し以外にも「読み聞かせ会」「ミニコ  
ンサート」など様々な  
催し物や講座を行って  
います。また、近隣の  
聖隷クリストファー大  
学の学生が、ボランテ  
ィアでイベントの運営  
などの手伝いをしてくれています。



最初は個人の活動でしたが、地域の方々の協力も  
あり、活動の輪がどんどん広がっています。



えほん文庫の本棚



読み聞かせイベントの様子

## 人づくり推進員の活動

「人づくり」について広く皆さんに知っていただき、実践活動を進めるため、**県内全市町で「人づくり推進員」が活躍しています。**ここで推進員の活動について紹介します。

### 1 活動の目的

県が進める「人づくり」の考え方を県民の皆様を知っていただくとともに、家庭や地域においてどのように人づくりを進めていくかを考えていただく場をつくることを目的としています。

### 2 活動の場

#### ◆人づくり地域懇談会

幼稚園、小学校、公民館などを会場とし、人づくり推進員の講話やグループ協議を通じて人づくりを考える会を計画的に開催しています。

例えば、次のようなテーマを設けて行っています。

- ・「子育てのテキストは、あなたの生き方」
- ・「子供のゴールを考えた驍」
- ・「地域で大人が子供にできること」 など



ある幼稚園での人づくり地域懇談会の様子

#### ◆推進員の自主的活動

この他にも、人づくり推進員が地域のグループの会合で県の人づくりを紹介したり、推進員の皆さんが協力して講演会やイベントを開催したりしています。



伊豆地域の人づくり推進員が企画した「アンサンブルは人づくり」。ミニコンサートと人づくりふれあいトークを行いました。



富士宮市の人づくり推進員が他団体と企画した「人づくり講座」。バラエティに富んだ講師を迎えての連続講座を行いました。

#### 人づくり地域懇談会等に参加された方の感想を紹介します。

- ・思わず、うなずく話ばかりでした。ドキッとすることで、考えさせられました。
- ・心が温かくなりました。お話にあったいくつかのことの中から実践していきたいと思いました。
- ・当たり前のことができない世の中。自分にも思い当たるところがあります。まずは挨拶から改めねばと思いました。
- ・“しつけ”とは、何かを教えるという発想ではなく、自分自身が実践し、見本を見せることだと思います。

※ 人づくり推進員の派遣を御希望の場合は、静岡県総合教育課まで御相談ください。

### 3 このような話題も提供しています

人づくり推進員の皆さんが「人づくり地域懇談会」等で活用している資料を一部紹介します。人づくりや生き方について考えるきっかけになれば幸いです。

#### ■何をしたかではなくて、どう生きたか

教育学者の高橋史朗氏が、しばしば、講演のあと聴衆にむかって読む詩があります。進行性筋ジストロフィーの青年が書いた僅か12行の詩です。青年は14歳のとき病気の内容を知らされ、あと6年の生命を真正面から対<sup>むか</sup>いあうのです。詩を紹介しましょう。

たとえ短い命でも  
生きる意味があるとするならば  
それは何だろう

働けぬ体で一生過ごす人生にも  
生きる価値があるとするならば  
それは何だろう

もしも人間の生きる価値が  
社会に役立つことで決まるなら  
僕たちは生きる価値も権利もない

しかし、どんな人間にも差別なく  
生きる資格があるのなら  
それは何によるのだろうか

詩の朗読が終わったあと、静まりかえった会場の中から、中年の男性が演壇に歩み寄って来て、こう言ったそうです。

「人生の価値は、何をしたかではなくて、どう生きたか、ということで決まるんですね」

その人は、言い終わると、涙をぽろぽろこぼしながら、高橋氏に一礼して自分の席に戻ったといいます。

出典：静岡県『さあ、はじめよう人づくり』（平成12年発行）

#### ■声掛けの効用

…橋本久義さんという通産省の役人がいましてね。非常に面白い人です。<sup>たんとつ</sup>鍛造課長になった時に、彼は役所と交渉して、「毎週木曜日だけ、一日自由にさせてください」と言って、彼は役所の車を使わないで、自分の車で、まず東京都内の金型を作っているところ、鑄造をやっているところ、そういう工場を回って歩くのです。もう二千工場くらい全国を回って歩いた男です。

それでわかったことは、町工場に行くと、茶髪やピアスはざらにいる。それで彼らに「お前、どうして3Kと言われている、こんなに暗い、汚い、臭いところで働いているんだ」と聞くと、「あの、先輩がいるからね」と言うのだそうです。

先輩がどうしたんだというと、前に一緒にオートバイぶっ飛ばしたり、ディスコで踊ったり、その遊び仲間だった先輩が町工場で働くようになった。それで顔を見せなくなったため、3ヵ月くらいして「また一緒

に遊ぼうよ」と工場を訪ねると、先輩は黙々と働いていた。茶髪で、もう耳輪ははずしちゃって。

「先輩、変わったんですね」

「うん、変わったか。俺、変わったかもしれない」

「どうして先輩、変わったんですか」

「ここの親父さんがいいんだよな。朝、『おはよう』と向こうから声をかけてくれるんだ。

それで『何かわかんないこと、あるかい』って教えてくれるんだよな。お前な、声かけられてな、教えてくれるとな、ちょっと人間、動けなくなるぞ。で、俺、こうなっちゃったんだよ。でも、俺、ようやく人間が生きるって、どういうことかわかったよ」

「それじゃ先輩、俺も入れてください」

という次第で、その町工場には、ずっと茶髪の系列が出来ちゃったのです。



つまり、あいつは茶髪だ、耳輪だということ、もうそれだけで自己完結的な存在のように、われわれは誤解してしまうのですが、実は彼らを変えさせる情報を、何も送っていなかったということです。

それが先輩の「親父さんが声をかけてくれるんだよ」の一言で、後輩の心までが動いたのです。

声をかけてくれるということが、いかに大切なことかです。

挨拶という言葉、「挨拶」というのは、心を開くという意味です。下の「挨拶」の語源は相手に迫るという意

味。だから、「おはよう」「ご飯食べたか」「元気か」とか、そういう挨拶は心を開いて、相手に迫る。つまり、お互いに変わる情報をそこから交換し合うということです。

出典：静岡県『人づくりの道標』（平成14年発行）

## ■「学歴」は「学びの歴史」

何事でも「丸暗記」の情報は脳の中に長くとどまっていません。試験が終わった途端、きれいさっぱり忘れてしまうことは、たいていの人が経験しているでしょう。私もその一人です。情報なんて覚えようとして覚えられないものではありません。情報を身につけるためには、それなりの「やり方」があります。

第一に「日常」、第二に「継続」、第三に「連結」、第四に「マイノート」です。

もう一つ、お受験崇拜族のみなさんに申し上げたいことは、「学歴」と「学校歴」は違うことです。「学歴」は読んで字の如く「学びの歴史」なのです。その人が棺のふたを閉じるまで、誰の話聞いたか、どこに旅をして何を感じたか、何度口惜し涙に泣いたか、何冊の本を読んだか、どれほど美しい詩歌に接したか、みんな「学歴」なのです。

一例を挙げれば、本を毎日二十七ページずつ読めば大変な学歴になります。これを三年間続けると、27×365×3ページになる。いま、一冊の本は三百ペ

ページ未満でできていますから、一日二十七ページの読書を三年続けた結果を三百で割りますと、百冊という答えが出ます。

三年間で百冊の本を読むということは、ご自分が静岡県から一歩も動かず、古今東西の思想家、大作家、芸術家、詩人、学者、探検家、名人、宗教家とめぐりあうことです。読んでいるうちに、ある言葉の意味が深くなる、別の言葉と連結できる、あるいは思想家と宗教家とが全く違った意味づけをしていることがわかる。その結合点をノートにとる。それが「マイノート」です。

出典：静岡県『さあ、はじめようづくり』（平成12年発行）



## 親子で話そう!!我が家のケータイ・スマホルール

- ◆携帯電話やスマートフォンを安全に利用するために、国の法律や静岡県の条例で、保護者は子供に**フィルタリングサービス**を利用させることが決められています。
- ◆**音楽プレーヤーやゲーム機**でのインターネット接続にも注意が必要です。
- ◆**犯罪**に巻き込まれたり、**いじめ**の加害者や被害者になったりしないように、**家庭で話し合っ**てルールを決めましょう。
- ◆ご自身の携帯電話やスマートフォンなどの使い方も振り返り、子どもの模範となるような使い方をしましょう。

### 【親子で話そう!!

#### 我が家のケータイ・スマホルール

- ① ネットを使うときは、フィルタリングを利用しよう!
- ② 友達を傷つける書き込みはやめよう!
- ③ ケータイ・スマホを使いすぎないように気をつけよう!
- ④ ネットで画像や動画を公開するときは気をつけよう!
- ⑤ 情報を見極めよう!
- ⑥ 法律を守ろう!



【メモ欄】

【メモ欄】

